

## 再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課  
担当課長名：木村 昌司

事業名 一般国道438号 飯山バイパス	事業区分 一般国道	事業主体 香川県
起終点 自：香川県 丸亀市 飯山町 上法軍寺 至：香川県 坂出市 川津町 西又		延長 5.13km
事業概要 一般国道438号は、徳島県徳島市を起点とし、香川県坂出市に至る総延長約175kmの幹線道路である。本事業は、交通混雑を解消し、円滑な交通の確保を目的とした延長5.1kmの4車線道路事業である。		
H9年度事業化	H8年度都市計画決定	H10年度用地着手
全体事業費 100億円		事業進捗率 45%
計画交通量 16,848台/日		供用済延長 0.4km(暫定)
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 2.3	総費用 (残事業)/事業全体 44 / 106 億円 事業費：39 / 100億円 維持管理費：6 / 6億円
	(残事業) 5.5	総便益 (残事業)/事業全体 241 / 241 億円 走行時間短縮便益：252 / 252 億円 走行費用減少便益：-10 / -10 億円 交通事故減少便益：-1 / -1 億円
基準年 平成18年		
感度分析の結果 実施なし		
事業の効果等 円滑なモビリティの確保（当該路線の整備により、利便性の向上が期待できるバス路線が存在する。） 国土・地域ネットワークの構築（日常活動圏の中心都市へのアクセス向上。） 他8項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 沿線地区（市町村合併により現在4市2町）で構成されている国道438号整備促進期成同盟会より本路線の早期整備の要望を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 国道438号坂出工区、川津橋工区は平成18年度末までに4車線で完成しており、隣接する本工区への早期整備の期待は高まっている。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成18年度末までに暫定2車線で約0.4kmを供用済。また、終点から県道善通寺府中線まで(約1.7km)の用地買収は平成17年度末までに約80%となっている。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 事業規模が大きいため、長期間事業となっている。今後は、事業効果が早期に発現する現道拡幅部から供用開始を図る。		
施設の構造や工法の変更等 バイパス部の暫定供用を検討。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況を勧案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考える。		
事業概要図 		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。